

- 教育関係法令
- 小学校学習指導要領
- 学校評価
- 実態調査
- 学力・学習状況調査

【学校教育目標】

豊かな心とたくましい体を持ち 主体的に判断し行動できる稗原の子
よく遊び、よく学ぶ子 認め合い、助け合う子 粘り強く、挑戦する子

かわさき教育プラン第3次1期
目指すもの：一人一人が輝き、共に
未来をつくる
みんなと共有したい価値観：「一步踏
み出す」「自分の幸せ みんなの豊か
さ」「多様性を可能性に」

【学校経営方針】

- ◎生きる力を育むために、教職員一人一人が創意工夫した、子どもたちが夢や希望をもてる教育活動の実践
- ◎学校・家庭・地域が連携協力し、多様性を尊重した魅力ある教育活動の実践

- I. 新しい社会を創り出す能力や態度の育成に取り組む
- II. 児童相互理解と人権尊重を大切にしながら豊かな心づくりに取り組む
- III. 現代諸課題、喫緊な課題に取り組む
- IV. 開かれた学校づくりに取り組む

学校経営重点目標

「確かな学力」を育む教育活動(知)

- 「なりたい自分」にむかって、必要な力や態度を身に付けようとする子(主体的)
- 人から学ぶ姿勢と、自分の言動を謙虚にふりかえる姿勢を常に大切にしながら、自分のよさや可能性を追求する子(対話的)
- 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見出し、追究して粘り強く解決していく子(深い学び)

「豊かな心」を育む教育活動(徳)

- 人の気持ちを考え、その気持ちを受け止めたり、その気持ちによりそったりしながら、人のために貢献しようとする子
- 友達と仲よくし、お互いに助け合おうとする優しい気持ちや態度を大切にする子
- 場面に応じた気持ちのよいあいさつや言葉遣い、行動、対応ができる子
- 異学年の子と分かり合い支え合いながら共に伸びていく子

「健やかな体」を育む教育活動(体)

- 進んで体を動かし、健康や安全、また食について考え、それを生活に生かすことができる子
- 自分の考えや思いをしっかりと表し、自分の力でできる子
- うまくいかない時に、すぐに人を頼るのではなく工夫したり、努力したりして、自分の力で乗り越えていける子
- 自分の身は自分で守る意識を持ち、いのちを大切に子

喫緊な課題への対応

- 危機管理に関する見識を深め、児童の安全管理や健康管理に努める。
- 学習状況調査等の分析やAIを用いて、授業改善に取り組む。
- 社会参画に向けた資質能力を育成する探究的な学びの充実
- 未来を育む学校サポートプログラムにおいて、教育の質の向上と学校現場の魅力向上を図る。
- GIGAスクール構想を推進する。

開かれた学校づくり

- 地域教育活動(学習支援ひえばら・寺子屋等)を組織し、学び合い社会の実現に向けたしくみづくりを整える
- 地域との交流や地域活動への参加を通して地域との連携強化を図るとともに、地域にある学習材を学校教育活動に生かしていく。
- 児童の地域に対する感謝の気持ちを育てるとともに、その気持ちを表す活動を展開していく。
- 地域の物的・人的資源を活用し、地域社会とつながる「かわさき探究2.0」の創造

今年度の重点目標

「確かな学力」を育む教育活動(知)

- ☆指導の個別化を考えた学習時間(モジュール)の計画・実施と定着
- ☆主体的・対話的で深い学びの実現
- ☆校内研究・校内研修の充実
- ☆ICTの積極的な活用
- ☆体験的・問題解決的な学習の充実

「豊かな心」を育む教育活動(徳)

- ☆たてわり活動の創造
- ☆人権尊重教育の徹底
- ☆道徳教育の充実
- ☆共生・共育の推進・SOSの出し方教育の推進
- ☆キャリア在り方生き方教育の推進
- ☆支援教育の視点を踏まえた個に応じた児童指導と地域連携

「健やかな体」を育む教育活動(体)

- ☆体力向上に関わる取組の推進、全校体力測定
- ☆健康安全指導と学習等における安全配慮対応の充実
- ☆精神的な自立に向けての指導・支援
- ☆食育(望ましい食習慣)の推進

喫緊な課題への対応

- ☆校舎内外での児童の安全管理の徹底(施設・授業等)
- ☆子どもの社会参画に向けた探究的な学びの充実
- ☆不登校対策
- ☆教職員の働きやすい環境作り(業務改善等)の創造
- ☆AIを含めた汎用的な端末の活用方法の模索
- ☆みんなの校庭プロジェクト

開かれた学校づくり

- ☆地域のよさを生かした特色ある教育活動の創造
- ☆地域の教育力(リソース)を生かした教育活動の創造
- ☆学校運営協議会における学校評価
- ☆3校連携・幼保小連携
- ☆地域学校協働活動(学習支援「ひえばら」・寺子屋等)の継続

重点目標にかかわる具体的な取組

- ☆学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善に取り組む。
- ☆言語活動の充実による、思考力・判断力・表現力の育成に取り組む。
- ☆校内研究を通して、問いからはじまる学びや探究のサイクル等を構築し、児童の資質能力の育成に取り組む。
- ☆体験学習、問題解決的な学習・ICT活用等を図り、児童自身が学習を主体的に調整できる環境を整える。
- ☆「聴く・話す」ステップシートの活用の継続、学力調査分析等つまづきも学びに変えながら挑戦する意欲を育む

- ☆たてわり活動でのリーダーシップ・フォロワーシップにおける能動的・自律的な判断や行動を育成する。
- ☆「川崎市子どもの権利」に関する条例をふまえた人権尊重教育の充実を図りながら、あたたかな人間関係を構築する。
- ☆「考え、議論する道徳」を実践し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ☆キャリア在り方生き方教育の取組を通して、社会で自立して生きていくための基礎を育む。
- ☆子どもの教育的ニーズを察知し、一人ひとりに対する適切な支援を行う。
- ☆チーム学校として、関係諸機関との連携を図り、児童支援を行う。

- ☆授業、行事、休み時間等を通して、学校生活や家庭生活の中に、外遊びや運動の定着を図る。
- ☆保健教育と食育を通して、健康や安全についての関心・意欲・態度を育てる。
- ☆各教科における教材・教具及び場の設定等に関する安全配慮について、検討し事故防止に努める。
- ☆全教育活動を通して、児童の精神的な自立に向けた指導と支援に取り組む。
- ☆スポーツのまちの重点施策のキラキラタイムの充実と実業団・NPO等の連携によりスポーツ好きな子を育成する。

- ☆校舎内外における安全な過ごし方の定着を図り、けがや事故を未然に防ぐ。
- ☆教育課程の再編成や校務の効率化、しくみづくりにより、創造的な余白(時間)を確保する。
- ☆学習評価の事例研修、単元づくりの中で3評価の位置づけを考える。
- ☆子どもが主体となって問いを立てる探究的な学びを重視し、地域の魅力や課題を教材として地域に参画する学習活動を構築する。
- ☆学力状況調査結果から課題を見出し、指導の方向性と手だてを構築する。

- ☆地域や保護者、大学や企業等の支援を積極的に活用した学習活動と学校行事の充実を図っていく。
- ☆地域行事に参加し、「稗原」というまちのもつよさを最大限に生かした教育活動をつくりあげていく。
- ☆園児・児童の各発達段階をふまえながら地域の園や学校との交流を行い、豊かな人間性の育成を図る。また、スタートカリキュラムの見直しを行い、稗原のスタンダードを作成する。
- ☆地域に対する感謝の気持ちをもち、地域学校協働活動を組織し、子どもたちが地域社会の一員として育つ環境を整える。

教職員が心をつなげてチームとして取り組んでいく